拠点コース_秋田

平成24年度　『技術移転に係わる目利き人材育成研修プログラム』　（拠点コース 秋田）タイムテーブル

研修会場　秋田地方総合庁舎　６階　第14会議室　（秋田県秋田市山王４－１－２）　URL：http://www.pref.akita.jp/soudan/access.html

開催期間　平成24年10月16日（火）・17日（水）

（講師名等：敬称略）

講師等氏名	日程	募集	会場	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00
【開催挨拶】 菊地　智英 秋田産学官ネットワーク事務局長 【事例紹介】 保坂　正晴 秋田県立大学 木材高度加工研究所 コーディネータ 渡邊　雅生 秋田県立大学 地域連携・研究推進センター コーディネータ 石川　直人 秋田県立大学 地域連携・研究推進センター コーディネータ 成田　幹寿 公益財団法人あきた企業活性化センター 販路拡大担当　食品販路開拓コーディネータ	10/16 （火）	30名	第14 会議室		［全体説明］ 受付 開催挨拶 研修の概要と自己紹介 （中崎） 本研修の目的とねらいなど研修の概要について事務局より説明する。また受講者及び講師の自己紹介を行う。	［事例紹介］ 事例発表① （保坂） 「木質バイオマス」に関する技術開発の現状と課題について発表する。技術または研究成果の優位性から事業化への強みを模索する。 事例発表② （渡邊） 「木苺の栽培・商品化」に関する技術開発の現状と課題について発表する。技術または研究成果の優位性から事業化への強みを模索する。	昼食	［事例紹介］ 事例発表③ （石川） 「地域資源を活用したエネルギー」に関する技術開発の現状と課題について発表する。技術または研究成果の優位性から事業化への強みを模索する。 事例発表④ （成田） 「麹を活用した機能性健康食品」に関する技術開発の現状と課題について発表する。技術または研究成果の優位性から事業化への強みを模索する。	休憩 ［講義］ ビジネスモデルの検討 SWOT分析 （橋詰） ビジネスモデル策定へのプロセスを解説する一技術や製品の強み・弱み・ビジネスチャンス・リスク（SWOT）を分析し、用途・市場・顧客を重点化することで“プロジェクトにおけるコアとなる価値”は何かを模索していく。	［グループ討議］ グループ討議　SWOT分析 1Gr.（藤川） グループ討議　SWOT分析 2Gr.（高橋） グループ討議　SWOT分析 3Gr.（橋詰） グループ討議　SWOT分析 4Gr.（中崎）	休憩 全体発表 各グループの分析結果を発表	交流会 （18:00-19:30）
【講師】 橋詰　徹 北陸先端科学技術大学院大学　キャリア交流センター　特別講師 高橋　富男 東北大学　高度イノベーション博士人財育成センター　シニアエキスパート 藤川　昇 科学技術振興機構　産学連携アドバイザー 中崎　正好 財団法人　全日本地域研究交流協会 総括主任研究員 【JST事業紹介】 齊藤　仁志 科学技術振興機構　産学官連携ネットワーク部 部長	10/17 （水）				［事例紹介］ 事務局説明 事例発表① （保坂） 「木質バイオマス」のPJのビジネスモデルを発表する。事業成功の鍵や社会・事業環境面における着眼点と強みを模索する。 事例発表② （渡邊） 「木苺の栽培・商品化」のPJのビジネスモデルを発表する。事業成功の鍵や社会・事業環境面における着眼点と強みを模索する。	事例発表③ （石川） 「地域資源を活用したエネルギー」のPJのビジネスモデルを発表する。事業成功の鍵や社会・事業環境面における着眼点と強みを模索する。 事例発表④ （成田） 「麹を活用した機能性健康食品」のPJのビジネスモデルを発表する。事業成功の鍵や社会・事業環境面における着眼点と強みを模索する。	昼食	［JST事業］ JST 事業紹介 （齊藤） JSTが展開するネットワーク事業について紹介する。	［講義］ 社会ニーズを捉えたビジネスモデル （高橋） 地域の強みと社会ニーズを捉えたビジネスモデルとはービジネスモデル構築へのアプローチについて事例をもとに解説する。	［グループ討議］ グループ討議　ビジネスモデルの検討 1Gr.（藤川） グループ討議　ビジネスモデルの検討 2Gr.（高橋） グループ討議　ビジネスモデルの検討 3Gr.（橋詰） グループ討議　ビジネスモデルの検討 4Gr.（中崎）	休憩 全体発表 各グループの分析結果を発表	解散